

課題になっている行動 (気になる行動)

いろいろな
場所でテレビの
番組のセリフを繰り返す

な
曖昧で変化の
多い周囲より
何倍も意味がある
何度も繰り返す
行動や言葉



監修・文 水野敦之 絵: 宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な状況の変化 変化の多い周囲の状況 ■ 影響を与える刺激や情報 曖昧な周囲の状況 ■ 必要な支援がない 具体的な活動の提示がない ■ その他 無理にやめさせようとするア プローチ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>表出コミュニケーション</u> の特性: <u>遅延反響言語がある</u> ■ <u>想像思考の困難さ</u>: <u>曖昧</u> <u>時間の過ごし方として繰り返す</u> ■ <u>変化の対応の特性</u>: <u>繰り返しのフレーズなどを好む</u> ■ <u>長期記憶の特性</u>: <u>過去に</u> <u>聞いた内容を正確に繰り返す</u> ■ <u>その他</u>: <u>気持ちのコント</u> <u>ロールとしての方法</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>習慣になっているものがある</u> <u>繰り返しのセリフが習慣になっ</u> <u>ている</u> ■ <u>自分流の気づき・考え方をもつ</u> <u>セリフを繰り返すことでの曖昧な</u> <u>時間が過ごせる</u> ■ <u>過去に経験したこと学んだこと</u> <u>繰り返し聞こえた経験</u> <u>セリフを繰り返すことでの安心</u> <u>や気持ちの安定の経験</u> ■ <u>過去に経験したことにより恐怖</u> <u>や嫌悪感をもっていること</u> <u>無理に変更されたり、こだわりを</u> <u>やめさせようとするアプローチに</u> <u>対しての恐怖や嫌悪感、不安</u>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動前の状況※ 曖昧でわかりにくい時間 繰り返し聞いた経験 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動後の状況・結果※ 安心・安全 曖昧な時間が過ごせる 無理やりに変化しようとする対応

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
スケジュールなどの見通しの提示	絵、写真、具体物の理解 NOマークの理解	繰り返しが得意

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は?	本人の特性にあわせた支援は?	本人に伝える・教える部分は?
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをスケジュール等で伝える。 ・他の具体的な活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理にやめさせない。 ・活動場面によって視覚的にその場所でやらないように指示する。 ・時間、場面を決め、提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフを言っていていい場所、場面と言わない場所、場面を伝える。

解説と支援の方向性について

自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマーシャルやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。このエピソードは、遅延反響言語のエピソードになります。自由時間や曖昧な時間に見られる人もあります。曖昧な時間、わからない時間を、自分の好きなフレーズを繰り返すことで、わかりやすい時間としています。また、自分の気持ちのコントロールとして使う人もいます

※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』（104～105頁）を参考に記入してください。 検索“自閉症 フレームワーク”